# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | アンサンブル | | | 授業形態 / 必選 | 実習　　必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | | 年次 | 2年次 |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目　　該当 ■　　非該当 □ | | | | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 幼少の頃から本格的にクラシックピアノを20年間学び、コンクール等で多数受賞。<br>現在は自身で作詞作曲をジャンル問わず行いながら、鍵盤などで多くの演奏サポートや制作に携わる。<br>これまでに発表した作詞・作曲作品、またアレンジした楽曲は80曲以上ある。 | | | | |

**授業概要**

シンプルなフレーズを用いて、バンドアンサンブルに必要な知識と技術を身に着ける。

**到達目標**

・バンド全体のサウンドを意識した演奏を習得する。

・シチュエーションに応じた適切な演奏とふるまいを身につける。

・自身の演奏のみに集中することなく、全体の演奏状態をリアルタイムで把握しながら最善のアンサンブルを作ることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | バンドアンサンブルでの演奏に慣れ、自身の担当楽器の役割を理解する |
| 【前期】<br>4～7回目 | リズムやタイムを音楽的にコントロールし、休符をしっかり意識したリズムワークを身に着ける |
| 【前期】<br>8～10回目 | ステージでライブをしていることをしっかり認識し観客をイメージした演奏を心がける。周りのパートをよく確認し、統一感のあるアンサンブルを目指す。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | ワイルドさ、ファジーさを伴いながらも整った演奏を目指す。音価を意識した演奏を学ぶ。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | ここまでの課題曲で学んだことを全て取り入れ、理想的な演奏を目指す。<br>■前期試験：課題曲の演奏により「サウンドメイク / 表現力 / アンサンブル力 / 演奏時の視野確保」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アンサンブルとは、単純に各楽器が集まって好きに音を出し合った結果ではなく、もっと綿密で計画的に混ざり合っており、そこにダイナミクスやストーリーが存在します。自身のアンサンブルのイメージをより高め、それらをステージ上で観客に思い通りに届けるための実践方法を磨きましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ボディメイク | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 □ | 非該当 ■ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | トレーナー歴8年目<br>一般の方からコンテスト選手まで約7000人を指導。<br>福岡大会グランプリ、日本大会グランプリを輩出。<br>自身もコンテストで優勝経験あり。 | | | | |

**授業概要**

エンターテイナーとトレーニングの関連性、必要性を学習します。
体を鍛えることで、表現力・パフォーマンス力を向上させます。
また、ボディメイクによって身体と心、人生そのものが素敵に変わっていくことを伝えていきます。

**到達目標**

・パフォーマンスする上で必要な筋力、持久力、心肺機能の向上を目指します。

・ケガをしない為のストレッチ、体のケアの仕方を習得します。

・自信をつける為のシルエット作り、トレーニング方法を身に付けます。

・健康的で尚且つ、理想の身体を手に入れる為のボディメイク作りを習得します。

・トレーニング、食事管理、質のいい睡眠、姿勢に重点を置き、最終的にはこれらを自分でできるようになるボディメイクの自立を目指します。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | エンターティナーとボディメイクの関連性を理解し、必要性を学ぶ。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 根本的な体の使い方、正しい姿勢や歩き方、座り方を学び正しい筋肉の使い方を知る。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | ウォーミングアップ、クールダウンの必要性、運動前後のストレッチの種類を学ぶ。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 有酸素運動、無酸素運動のそれぞれの効果の違いを理解する。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | ボディメイクにおいて必要不可欠である食事や睡眠の大切さを学ぶ。<br>■前期試験：筆記試験にて、「ボディメイクの重要性　・体の構造　・ストレッチの重要性」の理解度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ボディメイクの重要性/体の構造/ストレッチの重要性/有酸素、無酸素運動の効果/トレーニングの知識」の5項目の理解度・到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ダイエットしたい、カッコいい身体になりたい、姿勢をよくしたい、腹筋を割りたい。誰もが一生課題とするであろう身体の事。これからパフォーマーとして生きていきたい。人生を素敵に過ごしたい。そんな夢に近づけてくれるのがこのボディメイク。ボディメイクをすればパフォーマンス力は自ずと上がり疲れにくく、健康的な身体を手に入れ尚且つ自分に自信を持てるようになる事で「オーラのある人」へと変わっていきます。この授業を糧にキラキラ輝く未来を掴みに行きましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ボーカロイド | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。<br>アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。 | | | | |

**授業概要**

ボーカロイドソフトの基本的な操作方法から学んでいきましょう。
又、歌い回しを工夫したり、ダイナミクスをつけることで、奥深い作品を作り上げることができるようになります。

**到達目標**

ボーカロイドソフトを使用して人間味のある歌わせ方ができるようになること。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。<br>■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | DJ | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経験 | 作曲家でありバンドMuchaMuchaMのギタリスト。自身が作曲したアルバム<br>"WOOLONGCHAINOISE"はApple Music , iTunesのテクノチャートで1位を獲得。<br>"Qantikala"という作品は世界中のストアでアナログレコードが即完売する程の実績を持つ。<br>その他にも瀧廉太郎 "荒城の月" のオフィシャルRemixを担当。トラックメイカー名義のORANCHAではSpotifyの総再生数は500万回以上。 | | | | |

**授業概要**

DJの基礎であるミックステクニックや基礎的なスクラッチ操作を習得します。

**到達目標**

・DJについて理解する。

・DJ機材の操作を理解する。

・どんな曲でもミックス出来る。

・リズムをキープしたスクラッチが出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 15分程度のDJ MIXの作成を行う。<br>■前期試験:DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 近年劇的に人口の増えているDJですが、実際難しいのか簡単なのか何をやっているのかについて理解して、機材の操作をマスターしてください。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | DTM | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | 該当 ■ | 非該当 □ | | |
| 担当講師<br>実務経歴 | メジャーアーティスト（M!LK「Good Morning Mr.Misstake」等）への編曲提供をはじめ、企業CMやゲーム音楽制作、効果音制作など幅広いキャリアを持つ。<br>レコーディング・ミキシングエンジニアとしても多くの現場に携わり、制作からアウトプットまで一気通貫したスキルを保持。現場主義の視点から、即戦力となる作編曲・ミキシング技術の実践的な指導にあたっている。 | | | | |

**授業概要**

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきているDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

**到達目標**

PC（Mac）やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ |
| 【前期】<br>11～13回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 前期テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。<br>■前期試験：前期課題曲でオペレーション到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ 」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？ |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ソングライティング | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。<br>自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。 | | | | |

**授業概要**

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

**到達目標**

・ダイアトニックコードを理解する。

・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。

・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | ・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明 |
| 【前期】<br>4～7回目 | ・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析① |
| 【前期】<br>8～10回目 | ・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる |
| 【前期】<br>11～13回目 | ・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析② |
| 【前期】<br>14～17回目 | ・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得<br>■前期試験：楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名</td><td colspan="2">ドラム</td><td>授業形態 / 必選</td><td>実習</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>学則別表上表記</td><td>分野別実習Ⅱ（前期）</td><td>年次</td><td colspan="2">2年次</td></tr>
<tr><td>授業時間</td><td colspan="2">90分（1単位時間45分）</td><td>年間授業数</td><td>17回（34単位時間）</td><td>年間単位数 1単位</td></tr>
<tr><td>科目設置学科コース</td><td colspan="5">全学科全コース</td></tr>
<tr><td>授業科目要件</td><td colspan="5">実務経験のある教員等による授業科目　　該当 ■　　非該当 □</td></tr>
<tr><td>担当講師<br>実務経歴</td><td colspan="5">・クリスハート、さかいゆう、藤原さくら、水谷千重子、Charles Berthoud等、<br>メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン<br>・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、霧島酒造、華味鳥等のCM音源制作</td></tr>
</table>

**授業概要**

・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングをしてみる。
・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

**到達目標**

・リズム感を養う。

・拍や小節の概念を知る。

・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。

・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。

・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。<br>【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。<br>【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。<br>【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。<br>【ステップ6】4分と8分のウラを知る。<br>【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 【ステップ8】16分音符を知る。<br>【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。<br>【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。<br>【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。<br>【ステップ13】16分のウラを知る。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。<br>【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。<br>■前期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート /指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート /指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 初心者でも経験者でも、色んなリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ベース | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経験 | レコーディングサポートとして、吉野裕行、千葉翔也、Amala、muque、9lana、Mega Shinnosuke など、声優・バンド・ボカロP・ネットシンガー等、幅広いジャンルの楽曲に参加。現在は福岡県内を中心に、ライブやコンサートのサポートミュージシャンとしても活動中。 | | | | |

**授業概要**

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

**到達目標**

・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。

・理論やベースにおいての知識を身につける。

・ベースラインを作成し実際にプレイする。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。<br>5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 前期まとめ。<br>■前期試験:課題曲の演奏により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | アコースティックギター | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 専門学校ESPエンタテインメント福岡を卒業後、同校の演奏アシスタントを経て講師としてギターの演奏技術や知識を教える。ESPguitarsのモニターアーティストを務め、福岡のアーティストを中心にライブやレコーディングサポートギタリストとして活動する。 | | | | |

**授業概要**

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

**到達目標**

・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。

・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。

・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。<br>三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。<br>■前期試験：課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はつきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | パーカッション | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | ・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン | | | | |

**授業概要**

様々なパーカッションに触れ、国のルーツやリズムパターン、奏法や知識を習得します。

**到達目標**

・世界を知るキッカケとなり、そのジャンルとリズムを知る。

・たくさんのパーカッションに触れ、リズム感や楽曲へのスパイスを知る。

・様々な楽器の奏法やリズムを知る事で他パートと合わせて演奏する事ができる。

・楽曲に対して、アレンジや要素としてパーカッションをピックアップできるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラーベ等の奏法を学ぶ。<br>【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。<br>【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。<br>【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。<br>【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【前期テスト】 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 【アンサンブル3】それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。<br>【前期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。<br>■前期試験：楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | パーカッションと一つに言っても、数え切れないほど世界にはたくさん存在します。少しでもその楽器に触れたり演奏してみたりすると、ギターベースドラムといったバンドサウンドの中にパーカッシブ要素を取り入れられたり、パーカッションだけで演奏できたりと、アンサンブルや楽曲アレンジ面でも可能性がグンと広がります。たくさん触れて体験し、そして体感してみましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | エレキギター | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 □ | 非該当 ■ | |
| 担当講師<br>実務経験 | ギタリストとしてメジャー, インディーズ, アイドル等 様々なジャンルのレコーディングやライブへ参加。<br>Mega Shinnosuke, 平山カンタロウ, LinQ, 浅野孝巳(ゴダイゴ) , 岩佐一成 etc…<br>自身の作曲した楽曲が全国区オーディションイベントにてグランプリを受賞。<br>その他楽曲もTV番組テーマソングや映画挿入歌に起用される。 | | | | |

**授業概要**

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

**到達目標**

・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。

・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。

・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。

・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容) |
| 【前期】<br>8～10回目 | コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ |
| 【前期】<br>11～13回目 | 課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する（簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする） |
| 【前期】<br>14～17回目 | 総合復習<br>■前期試験：課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 可能な限りギターを触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| **授業科目名** | ボイトレ | | **授業形態 / 必選** | 実習 | 必修 |
| | **学則別表上表記** | 分野別実習Ⅱ(前期) | **年次** | 2年次 | |
| **授業時間** | 90分(1単位時間45分) | **年間授業数** | 17回(34単位時間) | **年間単位数** | 1単位 |
| **科目設置学科コース** | 全学科全コース | | | | |
| **授業科目要件** | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | | 非該当 □ |
| **担当講師<br>実務経歴** | R&B,POPSのソロアーティストとして九州、東京を拠点に活動。<br>ミニアルバム"Darkness into light"をリリースし様々なステージに立つ。<br>ヴォーカルディレクターとして楽曲提供や様々なアーティストのレコーディングに参加。<br>プロシンガー・アイドル・KPOP養成所などで講師を勤めている。 | | | | |

**授業概要**

発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。

**到達目標**

・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。

・発声のメカニズムへの理解する

・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 基礎発声練習(チェストボイスの開発) |
| 【前期】<br>4～7回目 | 基礎発声練習(チェストボイスの定着) |
| 【前期】<br>8～10回目 | 基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発) |
| 【前期】<br>11～13回目 | 基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着) |
| 【前期】<br>14～17回目 | 基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着)<br>■前期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ボイストレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善してくことでこれから関わっていくエンターテイメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 歌ってみた | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | シンガーソングライターとして福岡を拠点に活動。<br>楽曲リリースやライブ出演のほか、CM歌唱・ラジオ出演、台湾フェス出演など幅広く音楽活動を行う。<br>アコースティックセッションユニット「ぷらそにか」、バンド「MuchaMuchaM」のメンバーとしても活動中。 | | | | |

**授業概要**

ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。

**到達目標**

・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。

・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる) |
| 【前期】<br>4～7回目 | 課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる) |
| 【前期】<br>8～10回目 | 課題曲2(自由に表現してみる) |
| 【前期】<br>11～13回目 | 課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる) |
| 【前期】<br>14～17回目 | 課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる<br>■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | メイク | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | TV番組、CM撮影、アーティスト撮影、ファッションショー、ブライダル等のメイクアップアーティスト<br>上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。 | | | | |

**授業概要**

メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。

**到達目標**

・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。

・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。

・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。

・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | ヘアアレンジの基本や応用。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。<br>■前期試験：メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 楽器知識 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音響楽器会社にて楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。担当アーティストの楽器、機材のケア、<br>九州各地の音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。 | | | | |

**授業概要**

コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。

**到達目標**

それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。
楽器のセッティング方法を学ぶ。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | キーボードやMIDIについて学ぶ |
| 【前期】<br>11～13回目 | ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>ドラムセットの組み方など実技試験を行う。 |
| 学生へのメッセージ | 音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。<br>それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋げてください。 |
| 備考 | 必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 照明 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレートを担当。<br>現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。 | | | | |

**授業概要**

①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。
②ユニット、バトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。

**到達目標**

・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。

・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について |
| 【前期】<br>4～7回目 | ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 照明シーンの作り方(打ち込み)編 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践) |
| 【前期】<br>14～17回目 | ■前期試験:前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 照明についてたくさん学び、楽しい授業にしましょう！ |
| 備考 | 必要に応じて資料の配布。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名</td><td colspan="2">動画編集</td><td>授業形態 / 必選</td><td>実習　　　　　必修</td></tr>
<tr><td>学則別表上表記</td><td>分野別実習Ⅱ(前期)</td><td>年次</td><td>2年次</td></tr>
<tr><td>授業時間</td><td colspan="2">90分(1単位時間45分)</td><td>年間授業数</td><td>17回(34単位時間)</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2"></td><td>年間単位数</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>科目設置学科コース</td><td colspan="4">全学科全コース</td></tr>
<tr><td>授業科目要件</td><td colspan="4">実務経験のある教員等による授業科目　　該当 ■　　非該当 □</td></tr>
<tr><td>担当講師<br>実務経歴</td><td colspan="4">絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。<br>大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。</td></tr>
<tr><td colspan="5">授業概要</td></tr>
<tr><td colspan="5">Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。</td></tr>
<tr><td colspan="5">到達目標</td></tr>
<tr><td colspan="5">Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。</td></tr>
</table>

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト 等。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。<br>■前期試験:前期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 |
| 学生へのメッセージ | 音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。 |
| 備考 | 特になし。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 韓国語 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 韓国にて3年間の語学留学後、1995年より韓国語通訳・翻訳、韓国ガイド等を経て、現在専門学校を中心に韓国語講師を行う。<br>上記の経験を活かし「韓国語」の指導にあたる。 | | | | |

**授業概要**

韓国語のみのテキストを使用し、日本人が理解しやすい説明を交え、韓国語の基礎知識を習得できるようにする。
また、会話を中心に「生きた韓国語」の習得を目指す。

**到達目標**

・韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。
・韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。
・また、韓国語会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 韓国語のしくみの理解(文字形成の理解、発音規則の理解)<br>韓国語会話テキスト 第1課「どこに行きますか？」 会話文・文型説明、会話練習 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 韓国語会話テキスト 第1課 練習問題<br>韓国語会話テキスト 第2課「パンありますか？」会話文・文型説明、会話練習 |
| 【前期】<br>8～10回目 | 韓国語会話テキスト 第2課 練習問題<br>韓国語会話テキスト 第3課「デパートでズボンと靴を買います」会話文・文型説明、会話練習 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 韓国語会話テキスト 第3課 練習問題<br>韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 韓国語会話テキスト 第4課 復習Ⅰ 練習問題、会話練習<br>■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 |
| 学生へのメッセージ | 韓国語は日本人が一番学習しやすい言語です！<br>基礎をしっかり身につけて、会話ができるようになりましょう！<br>選択授業終了後も自学できる力をつけましょう！ |
| 備考 | 講師作成プリントを適時配布など。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | PA | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。<br>上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。 | | | | |

**授業概要**

①アナログの音響卓の操作。
②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

**科目のねらい**

・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。

・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。<br>音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方)<br>PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。<br>ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。<br>ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。<br>マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。<br>バンドセットのライブ実習での実務経験。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | バンドセットのライブ実習での実務経験。<br>イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。<br>様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 前期試験準備。<br>■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。 |
| 備考 | 適時プリント資料配布 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | ボーカロイド | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。<br>アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。 | | | | |

**授業概要**

ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。

**到達目標**

・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。

・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。

・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | 起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集　歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。<br>■前期試験：ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ 」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようにします。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 楽器知識 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | 自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。<br>上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。 | | | | |

**授業概要**

ドラムセット、ギター、キーボード等様々な楽器の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、メンテナンスの実技指導を行う

**到達目標**

幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス |
| 【前期】<br>4～7回目 | ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成 |
| 【前期】<br>8～10回目 | エフェクターに使われる部品説明 |
| 【前期】<br>11～13回目 | 管楽器その他様々な楽器について |
| 【前期】<br>14～17回目 | ■前期試験：筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等／ギター弦交換・チューニング等／半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。 |
| 備考 | 適宜テキスト配布 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | レコーディング | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(前期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。 | | | | |

**授業概要**

①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

**到達目標**

・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。

・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。

・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。

・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する |
| 【前期】<br>4～7回目 | マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する<br>マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する |
| 【前期】<br>8～10回目 | バンドレコーディング実習(録音編) |
| 【前期】<br>11～13回目 | Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集) |
| 【前期】<br>14～17回目 | ■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。<br>わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | PA | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（前期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 福岡のライブハウスで長年、PA、アーティストブッキングや施設管理業務を担当。自身のライブハウスを問わず、様々な会場やアーティストのコンサートにおいてPAエンジニアとして従事。管理業務、店舗への音響設備などの業務も行なっている。また、自身がギターを担当しているバンドでは福岡を中心に精力的に活動中。<br>上記の経験を活かし音響知識に関する講義を行う。 | | | | |

**授業概要**

①アナログの音響卓の操作。
②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

**科目のねらい**

・音響卓（アナログ、デジタル）の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。

・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【前期】<br>1～3回目 | 8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。<br>音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。（考え方）<br>PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。 |
| 【前期】<br>4～7回目 | バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー（モニタースピーカー）のチューニング。<br>ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー（モニタースピーカー）の設置及びチューニング。<br>ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。 |
| 【前期】<br>8～10回目 | PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。<br>マルチボックス（16ch,32ch）マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。<br>バンドセットのライブ実習での実務経験。 |
| 【前期】<br>11～13回目 | バンドセットのライブ実習での実務経験。<br>イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。<br>様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。 |
| 【前期】<br>14～17回目 | 前期試験準備。<br>■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。 |
| 備考 | 適時プリント資料配布 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ボディメイク | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 □ | 非該当 ■ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | トレーナー歴8年目<br>一般の方からコンテスト選手まで約7000人を指導。<br>福岡大会グランプリ、日本大会グランプリを輩出。<br>自身もコンテストで優勝経験あり。 | | | | |

**授業概要**

エンターテイナーとトレーニングの関連性、必要性を学習します。
体を鍛えることで、表現力・パフォーマンス力を向上させます。
また、ボディメイクによって身体と心、人生そのものが素敵に変わっていくことを伝えていきます。

**到達目標**

・パフォーマンスする上で必要な筋力、持久力、心肺機能の向上を目指します。

・ケガをしない為のストレッチ、体のケアの仕方を習得します。

・自信をつける為のシルエット作り、トレーニング方法を身に付けます。

・健康的で尚且つ、理想の身体を手に入れる為のボディメイク作りを習得します。

・トレーニング、食事管理、質のいい睡眠、姿勢に重点を置き、最終的にはこれらを自分でできるようになるボディメイクの自立を目指します。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 胸、肩、背中、腕、トレーニング習得。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | お腹、足、臀部、インナーマッスルトレーニング習得。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 上半身トレーニングメニュー作成の習得。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 下半身トレーニングメニュー作成の習得。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | コンディショニングの重要性、セルフケアの習得。<br>■後期試験:筆記・実技試験にて、「有酸素、無酸素運動の効果について・実技トレーニング」の理解度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ボディメイクの重要性/体の構造/ストレッチの重要性/有酸素、無酸素運動の効果/トレーニングの知識」の5項目の理解度・到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ダイエットしたい、カッコいい身体になりたい、姿勢をよくしたい、腹筋を割りたい。誰もが一生課題とするであろう身体の事。これからパフォーマーとして生きていきたい。人生を素敵に過ごしたい。そんな夢に近づけてくれるのがこのボディメイク。ボディメイクをすればパフォーマンス力は自ずと上がり疲れにくく、健康的な身体を手に入れ尚且つ自分に自信を持てるようになる事で「オーラのある人」へと変わっていきます。この授業を糧にキラキラ輝く未来を掴みに行きましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ボーカロイド | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。<br>アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。 | | | | |

**授業概要**

ボーカロイドソフトの基本的な操作方法から学んでいきましょう。
又、歌い回しを工夫したり、ダイナミクスをつけることで、奥深い作品を作り上げることができるようになります。

**到達目標**

ボーカロイドソフトを使用して人間味のある歌わせ方ができるようになること。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | Piapro Studioでできること。基本的な操作方法。こちらで用意したカラオケ音源に歌メロを打ち込み実際に歌わせる。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 歌を切るタイミング、歌い回しの工夫。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 目更にダイナミクスをつけて、調教力を高める。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | リズムをとりながら歩く・ポーズなどのパフォーマンスを、ムービーとしての流れを作る。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 作成したオリジナルメロディのVOCALOIDの調教。<br>■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 楽しみながら、人から見られて、まねできない個性的なパフォーマンスを身につけることで、自分に自信が持てるようになります。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名</td><td colspan="2">DJ</td><td>授業形態 / 必選</td><td>実習</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>学則別表上表記</td><td>分野別実習Ⅱ（後期）</td><td>年次</td><td colspan="2">2年次</td></tr>
<tr><td>授業時間</td><td colspan="2">90分（1単位時間45分）</td><td>年間授業数</td><td>17回（34単位時間）</td><td>年間単位数　1単位</td></tr>
<tr><td>科目設置学科コース</td><td colspan="5">全学科全コース</td></tr>
<tr><td>授業科目要件</td><td colspan="5">実務経験のある教員等による授業科目　　該当 ■　　非該当 □</td></tr>
<tr><td>担当講師<br>実務経歴</td><td colspan="5">作曲家でありバンドMuchaMuchaMのギタリスト。自身が作曲したアルバム<br>"WOOLONGCHAINOISE"はApple Music , iTunesのテクノチャートで1位を獲得。<br>"Qantikala"という作品は世界中のストアでアナログレコードが即完売する程の実績を持つ。<br>その他にも瀧廉太郎 "荒城の月" のオフィシャルRemixを担当。トラックメイカー名義のORANCHAではSpotifyの総再生数は500万回以上。</td></tr>
</table>

**授業概要**

DJの基礎であるミックステクニックや基礎的なスクラッチ操作を習得します。

**到達目標**

・DJについて理解する。

・DJ機材の操作を理解する。

・どんな曲でもミックス出来る。

・リズムをキープしたスクラッチが出来る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | DJの歴史や、機材の歴史について学びDJという職業についての理解を深める。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | DJ機材の各名称を覚え、基本操作の習得を行う。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | House Hip Hop EDM 等のジャンルを選択しDJミックスを習得。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | スクラッチ音源を用いてスクラッチ操作の習得。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 15分程度のDJ MIXの作成を行う。<br>■後期試験：DJ操作の実習により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「機材操作/ DJ MIXのクオリティ / スクラッチ」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 近年劇的に人口の増えているDJですが、実際難しいのか簡単なのか何をやっているのかについて理解して、機材の操作をマスターしてください。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | DTM | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | 該当 ■ | 非該当 □ | | |
| 担当講師<br>実務経歴 | メジャーアーティスト（M!LK「Good Morning Mr.Misstake」等）への編曲提供をはじめ、企業CMやゲーム音楽制作、効果音制作など幅広いキャリアを持つ。<br>レコーディング・ミキシングエンジニアとしても多くの現場に携わり、制作からアウトプットまで一気通貫したスキルを保持。現場主義の視点から、即戦力となる作編曲・ミキシング技術の実践的な指導にあたっている。 | | | | |

**授業概要**

昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきているDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。

**到達目標**

PC（Mac）やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。①リズム隊 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。②メロディ |
| 【後期】<br>11～13回目 | 各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。③コード楽器 |
| 【後期】<br>14～17回目 | テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。<br>■後期試験：課題曲でオペレーション到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ 」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に見えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？ |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | アンサンブル | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 幼少の頃から本格的にクラシックピアノを20年間学び、コンクール等で多数受賞。<br>現在は自身で作詞作曲をジャンル問わず行いながら、鍵盤などで多くの演奏サポートや制作に携わる。<br>これまでに発表した作詞・作曲作品、またアレンジした楽曲は80曲以上ある。 | | | | |

**授業概要**

シンプルなフレーズを用いて、バンドアンサンブルに必要な知識と技術を身に着ける。

**到達目標**

・バンド全体のサウンドを意識した演奏を習得する。

・シチュエーションに応じた適切な演奏とふるまいを身につける。

・自身の演奏のみに集中することなく、全体の演奏状態をリアルタイムで把握しながら最善のアンサンブルを作ることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | バンドアンサンブルでの演奏に慣れ、自身の担当楽器の役割を理解する |
| 【後期】<br>4～7回目 | リズムやタイムを音楽的にコントロールし、休符をしっかり意識したリズムワークを身に着ける |
| 【後期】<br>8～10回目 | ステージでライブをしていることをしっかり認識し観客をイメージした演奏を心がける。周りのパートをよく確認し、統一感のあるアンサンブルを目指す。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | ワイルドさ、ファジーさを伴いながらも整った演奏を目指す。音価を意識した演奏を学ぶ。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | ここまでの課題曲で学んだことを全て取り入れ、理想的な演奏を目指す。<br>■後期試験：課題曲の演奏により「サウンドメイク / 表現力 / アンサンブル力 / 演奏時の視野確保」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アンサンブルとは、単純に各楽器が集まって好きに音を出し合った結果ではなく、もっと綿密で計画的に混ざり合っており、そこにダイナミクスやストーリーが存在します。自身のアンサンブルのイメージをより高め、それらをステージ上で観客に思い通りに届けるための実践方法を磨きましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ソングライティング | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 楽曲「小さな光」「少しだけ」「少年」などメジャーレーベルからCDをリリース。<br>自身もDUOでシンガーソングライターとして精力的にライブ活動を実施している。 | | | | |

**授業概要**

理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。

**到達目標**

・ダイアトニックコードを理解する。

・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。

・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | ・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明 |
| 【後期】<br>4～7回目 | ・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析① |
| 【後期】<br>8～10回目 | ・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる |
| 【後期】<br>11～13回目 | ・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析② |
| 【後期】<br>14～17回目 | ・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得<br>■前期試験：楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることでこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ドラム | | 授業形態 / 必選 | 実習　必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |

| | |
|---|---|
| 科目設置学科コース | 全学科全コース |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目　該当 ■　非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | ・クリスハート、さかいゆう、藤原さくら、水谷千重子、Charles Berthoud等、<br>メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン<br>・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、霧島酒造、華味鳥等のCM音源制作 |

**授業概要**

・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。
・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングをしてみる。
・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。
・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。

**到達目標**

・リズム感を養う。

・拍や小節の概念を知る。

・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。

・プレイの向上や、楽曲のコピーやカヴァー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。

・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。<br>【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。<br>【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。<br>【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。<br>【ステップ6】4分と8分のウラを知る。<br>【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 【ステップ8】16分音符を知る。<br>【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。<br>【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。<br>【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。<br>【ステップ13】16分のウラを知る。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。<br>【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。<br>■後期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート /指定フィルイン/スティックコントロール」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート /指定フィルイン/スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 初心者でも経験者でも、色んなリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | ベース | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |

| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 科目設置学科コース | 全学科全コース |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目　該当 ■　非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | レコーディングサポートとして、吉野裕行、千葉翔也、Amala、muque、9lana、Mega Shinnosuke など、声優・バンド・ボカロP・ネットシンガー等、幅広いジャンルの楽曲に参加。現在は福岡県内を中心に、ライブやコンサートのサポートミュージシャンとしても活動中。 |

**授業概要**

エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。

**到達目標**

・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。

・理論やベースにおいての知識を身につける。

・ベースラインを作成し実際にプレイする。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。<br>5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 後期まとめ。<br>■後期試験：課題曲の演奏により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ピッキング/ フィンガリング / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | アコースティックギター | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 専門学校ESPエンタテインメント福岡を卒業後、同校の演奏アシスタントを経て講師としてギターの演奏技術や知識を教える。ESPguitarsのモニターアーティストを務め、福岡のアーティストを中心にライブやレコーディングサポートギタリストとして活動する。 | | | | |

**授業概要**

アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。

**到達目標**

・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。

・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。

・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。<br>三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。<br>■後期試験：課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はつきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | パーカッション | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | ・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳（ゴダイゴ）、森本太郎（ザ・タイガース）、<br>ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン | | | | |

**授業概要**

様々なパーカッションに触れ、国のルーツやリズムパターン、奏法や知識を習得します。

**到達目標**

・世界を知るキッカケとなり、そのジャンルとリズムを知る。

・たくさんのパーカッションに触れ、リズム感や楽曲へのスパイスを知る。

・様々な楽器の奏法やリズムを知る事で他パートと合わせて演奏する事ができる。

・楽曲に対して、アレンジや要素としてパーカッションをピックアップできるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 【小物系】シェイカー、タンバリン、鈴、クラーベ等の奏法を学ぶ。<br>【コンガ】キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、奏法を学ぶ。<br>【ボンゴ】アフリカ系キューバ発祥の楽器。ルーツを知り、コンガとは少し違う奏法を学ぶ。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 【カホン】ペルー発祥の楽器。ルーツを知り、ドラムに近い演奏が出来る。<br>【ジャンベ】西アフリカ発祥の楽器。ルーツを知り、リズムパターンを学ぶ。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 【パンディロ】ブラジル発祥の楽器。タンバリンとは異なり、両手それぞれ役割のある奏法を学ぶ。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 【アンサンブル1】コンガ、ボンゴ、ジャンベを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンを演奏しセッションを楽しむ。<br>【アンサンブル2】カホン、パンディロを使い、それぞれ役割のあるリズムパターンでセッションを楽しむ。【前期テスト】 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 【アンサンブル3】それぞれチョイスした楽器を使ってリズムアンサンブルを考え演奏してみる。<br>【後期まとめ】各楽器の奏法を復習し、小物パーカッションも混ぜて演奏してみる。<br>■後期試験：楽器の演奏により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「指定楽器の奏法 / 小物を使った演奏 / アンサンブル能力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | パーカッションと一つに言っても、数え切れないほど世界にはたくさん存在します。少しでもその楽器に触れたり演奏してみたりすると、ギターベースドラムといったバンドサウンドの中にパーカッシブ要素を取り入れられたり、パーカッションだけで演奏できたりと、アンサンブルや楽曲アレンジ面でも可能性がグンと広がります。たくさん触れて体験し、そして体感してみましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | エレキギター | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | 該当 □ | 非該当 ■ | | |
| 担当講師<br>実務経験 | ギタリストとしてメジャー, インディーズ, アイドル等 様々なジャンルのレコーディングやライブへ参加。<br>Mega Shinnosuke, 平山カンタロウ, LinQ, 浅野孝巳(ゴダイゴ) , 岩佐一成 etc...<br>自身の作曲した楽曲が全国区オーディションイベントにてグランプリを受賞。<br>その他楽曲もTV番組テーマソングや映画挿入歌に起用される。 | | | | |

**授業概要**

エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。

**到達目標**

・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。

・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。

・チューニングや初期セッティングを自分一人でおこなえるようになる。

・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容) |
| 【後期】<br>8～10回目 | コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ |
| 【後期】<br>11～13回目 | 課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する（簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする） |
| 【後期】<br>14～17回目 | 総合復習<br>■後期試験：課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 可能な限りギターを触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずです。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名</td><td colspan="3">ボイトレ</td><td>授業形態 / 必選</td><td>実習</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>学則別表上表記</td><td colspan="2">分野別実習Ⅱ(後期)</td><td>年次</td><td colspan="2">2年次</td></tr>
<tr><td>授業時間</td><td colspan="2">90分(1単位時間45分)</td><td>年間授業数</td><td>17回(34単位時間)</td><td>年間単位数</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>科目設置学科コース</td><td colspan="6">全学科全コース</td></tr>
<tr><td>授業科目要件</td><td colspan="6">実務経験のある教員等による授業科目　該当 ■　非該当 □</td></tr>
<tr><td>担当講師<br>実務経歴</td><td colspan="6">鍵盤弾き語り、シンガーソングライター。<br>The 8th Music Revolution Hi-Gain大会、V3新人オーディション20th、など、多数のオーディションでグランプリ、ファイナリストに選出される。<br>2016佐賀年気球世界選手権、TV CM、企業CM、短編映画、への楽曲提供なども行なっている。</td></tr>
<tr><td colspan="7">授業概要</td></tr>
<tr><td colspan="7">発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。</td></tr>
<tr><td colspan="7">到達目標</td></tr>
<tr><td colspan="7">・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。<br>・発声のメカニズムへの理解する<br>・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。</td></tr>
</table>

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 基礎発声練習(チェストボイスの開発) |
| 【後期】<br>4～7回目 | 基礎発声練習(チェストボイスの定着) |
| 【後期】<br>8～10回目 | 基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発) |
| 【後期】<br>11～13回目 | 基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着) |
| 【後期】<br>14～17回目 | 基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着)<br>■後期試験:課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | ボイストレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善してくことでこれから関わっていくエンターテイメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 授業科目名 | 歌ってみた | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | シンガーソングライターとして福岡を拠点に活動。<br>楽曲リリースやライブ出演のほか、CM歌唱・ラジオ出演、台湾フェス出演など幅広く音楽活動を行う。<br>アコースティックセッションユニット「ぷらそにか」、バンド「MuchaMuchaM」のメンバーとしても活動中。 | | | | |

**授業概要**

ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。

**到達目標**

・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。

・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 課題曲1（まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる） |
| 【後期】<br>4～7回目 | 課題曲1（楽曲への理解を深め、表現につなげてみる） |
| 【後期】<br>8～10回目 | 課題曲2（自由に表現してみる） |
| 【後期】<br>11～13回目 | 課題曲2（聴き手に伝わる表現を追求してみる） |
| 【後期】<br>14～17回目 | 課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる<br>■後期試験：課題曲の歌唱により「歌唱時の音色（声色）の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「歌唱時の音色（声色）の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | メイク | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | 該当 ■ | 非該当 □ | | |
| 担当講師<br>実務経歴 | TV番組、CM撮影、アーティスト撮影、ファッションショー、ブライダル等のメイクアップアーティスト<br>上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。 | | | | |

**授業概要**

メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。

**到達目標**

・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。

・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。

・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。

・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | アイブロウ、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | ヘアアレンジの基本や応用。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。<br>■後期試験：メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識　/ メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「スキンケア知識　/ メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 楽器知識 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音響楽器会社にて楽器や音響機材のメンテナンス/管理に従事。担当アーティストの楽器、機材のケア、<br>九州各地の音楽フェスや放送局の現地楽器クルー業務を担当。 | | | | |

**授業概要**

コンサートなどで使用される一般的な楽器の基礎知識を学び、簡単なハンダ作業、シールド作成、エフェクターの構造など理解を深める。

**到達目標**

それぞれの学科・コースにおいて楽器知識を活かしより良い音楽制作ができるようになる。
楽器のセッティング方法を学ぶ。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | ドラムセットの各名称、構造、セッティングを理解する。音色の違いなども聞いてみる。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | ギターなどの各名称、構造、音の出し方、弦交換などをする。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | キーボードやMIDIについて学ぶ |
| 【後期】<br>11～13回目 | ハンダ作業にてパッチシールド作成など工具の使い方も学ぶ。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 簡単なエフェクターの基礎構造と作成をし、半田作業を身につける、音の出る仕組みを理解する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>ドラムセットの組み方など実技試験を行う。 |
| 学生へのメッセージ | 音楽制作には様々な楽器、機材、専門用語が出てきます。<br>それらを理解し触れる事で、自身のスキルアップに繋げてください。 |
| 備考 | 必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 照明 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | | 非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | 長年ライブハウスにて照明スタッフとして在籍。多くの照明オペレートを担当。<br>現在フリーランスとしてフェス現場やアーティストの乗り込みオペレーターとしても活動中。 | | | | |

**授業概要**

①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。
②ユニット、バトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。

**到達目標**

・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。

・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について |
| 【後期】<br>4～7回目 | ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 照明シーンの作り方(打ち込み)編 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践) |
| 【後期】<br>14～17回目 | ■後期試験：後期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 照明についてたくさん学び、楽しい授業にしましょう！ |
| 備考 | 必要に応じて資料の配布。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 動画編集 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | | 該当 ■ | 非該当 □ |
| 担当講師<br>実務経歴 | 絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。<br>大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。 | | | | |

**授業概要**

Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。

**到達目標**

Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1〜3回目 | 「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト 等。 |
| 【後期】<br>4〜7回目 | 「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。 |
| 【後期】<br>8〜10回目 | 「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。 |
| 【後期】<br>11〜13回目 | 「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。 |
| 【後期】<br>14〜17回目 | 「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。<br>■後期試験：後期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 |
| 学生へのメッセージ | 音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。 |
| 備考 | 特になし。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

<table>
<tr><td rowspan="2">授業科目名</td><td colspan="2">韓国語</td><td>授業形態 / 必選</td><td>実習</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>学則別表上表記</td><td>分野別実習Ⅱ(後期)</td><td>年次</td><td colspan="2">2年次</td></tr>
<tr><td>授業時間</td><td>90分(1単位時間45分)</td><td>年間授業数</td><td>17回(34単位時間)</td><td>年間単位数</td><td>1単位</td></tr>
<tr><td>科目設置学科コース</td><td colspan="5">全学科全コース</td></tr>
<tr><td>授業科目要件</td><td colspan="3">実務経験のある教員等による授業科目</td><td>該当 ■</td><td>非該当 □</td></tr>
<tr><td>担当講師<br>実務経歴</td><td colspan="5">韓国にて3年間の語学留学後、1995年より韓国語通訳・翻訳、韓国ガイド等を経て、現在専門学校を中心に韓国語講師を行う。<br>上記の経験を活かし「韓国語」の指導にあたる。</td></tr>
<tr><td colspan="6">授業概要</td></tr>
<tr><td colspan="6">韓国語のみのテキストを使用し、日本人が理解しやすい説明を交え、韓国語の基礎知識を習得できるようにする。<br>また、会話を中心に「生きた韓国語」の習得を目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="6">到達目標</td></tr>
<tr><td colspan="6">・韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。<br>・韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得し、今後の韓国語学習につなげる。<br>・また、韓国語会話の基本を学習し、簡単な会話ができるようになる。</td></tr>
</table>

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 韓国語のしくみの理解(文字形成の理解、発音規則の理解)<br>韓国語会話テキスト　第1課「どこに行きますか？」 会話文・文型説明、会話練習 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 韓国語会話テキスト　第1課　練習問題<br>韓国語会話テキスト　第2課「パンありますか？」会話文・文型説明、会話練習 |
| 【後期】<br>8～10回目 | 韓国語会話テキスト　第2課　練習問題<br>韓国語会話テキスト　第3課「デパートでズボンと靴を買います」会話文・文型説明、会話練習 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 韓国語会話テキスト　第3課　練習問題<br>韓国語会話テキスト　第4課　復習Ⅰ　練習問題、会話練習 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 韓国語会話テキスト　第4課　復習Ⅰ　練習問題、会話練習<br>■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 |
| 学生へのメッセージ | 韓国語は日本人が一番学習しやすい言語です！<br>基礎をしっかり身につけて、会話ができるようになりましょう！<br>選択授業終了後も自学できる力をつけましょう！ |
| 備考 | 講師作成プリントを適時配布など。 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | PA | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事の後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。<br>上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。 | | | | |

**授業概要**

①アナログの音響卓の操作。
②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

**科目のねらい**

・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。

・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。<br>音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方)<br>PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。<br>ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。<br>ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。<br>マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。<br>バンドセットのライブ実習での実務経験。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | バンドセットのライブ実習での実務経験。<br>イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。<br>様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 後期試験準備。<br>■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。 |
| 備考 | 適時プリント資料配布 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | ボーカロイド | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 音楽学校卒業後、2015年よりフリーで作詞作曲をすると同時に、DAW講師として活動。<br>アイドルグループへの楽曲提供及び編曲を多数行うとともに、レコーディングディレクターとしても活躍。現在に至る。 | | | | |

**授業概要**

ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。

**到達目標**

・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。

・ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。

・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | 起動からボーカロイドに歌わせてる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集　歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。<br>■後期試験：ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ 」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようにします。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | 楽器知識 | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ(後期) | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分(1単位時間45分) | 年間授業数 | 17回(34単位時間) | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 自身のバンドで上京、メジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。<br>上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。 | | | | |

**授業概要**

ドラムセット、ギター、キーボード等様々な楽器の構造と仕組み、セッティング、弦交換、ケーブル作成、ドラムヘッドの張替え、メンテナンスの実技指導を行う

**到達目標**

幅広い楽器知識と実習経験を他学科でも活かせる事

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | ドラムセットの構造、セッティング、各種シンバル音色の違い、ヘッド張替え、メンテナンス |
| 【後期】<br>4～7回目 | ギターの構造など、弦交換、チューニング、簡単な修理やメンテ、パッチケーブル作成 |
| 【後期】<br>8～10回目 | エフェクターに使われる部品説明 |
| 【後期】<br>11～13回目 | 管楽器その他様々な楽器について |
| 【後期】<br>14～17回目 | ■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「ドラムヘッド交換・チューニング等／ギター弦交換・チューニング等／半田付け技術の習得」の3項目の到達度を評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 多種多様な楽器の知識を理解してプラスになれるように学んでください。 |
| 備考 | 適宜テキスト配布 |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | レコーディング | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 10代の頃から自身のユニットを結成して活動。ライブと並行してDTMでの制作を始める。その後音楽活動を続けながらもサウンドエンジニアリングにも傾倒。徐々に自身の作品以外のRec/Mixも手掛けるようになり、近年ではメジャーインディードなど多数のアーティストの作品にエンジニアとして携わりスタジオのメインエンジニアに就任。上記の経験を活かし仕込みからバラシ、スタジオ実習に関する実習を行う。 | | | | |

**授業概要**

①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。
②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。

**到達目標**

・レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。

・同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。

・実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。

・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方（8の字巻き）など基本的な作業を理解する |
| 【後期】<br>4～7回目 | マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する<br>マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する |
| 【後期】<br>8～10回目 | バンドレコーディング実習(録音編) |
| 【後期】<br>11～13回目 | Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集) |
| 【後期】<br>14～17回目 | ■後期試験：筆記試験及び実技試験の実施 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | 基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。<br>わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。 |
| 備考 | |

# 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名 | PA | | 授業形態 / 必選 | 実習 | 必修 |
| | 学則別表上表記 | 分野別実習Ⅱ（後期） | 年次 | 2年次 | |
| 授業時間 | 90分（1単位時間45分） | 年間授業数 | 17回（34単位時間） | 年間単位数 | 1単位 |
| 科目設置学科コース | 全学科全コース | | | | |
| 授業科目要件 | 実務経験のある教員等による授業科目 | | 該当 ■ | 非該当 □ | |
| 担当講師<br>実務経歴 | 福岡のライブハウスで長年、PA、アーティストブッキングや施設管理業務を担当。自身のライブハウスを問わず、様々な会場やアーティストのコンサートにおいてPAエンジニアとして従事。管理業務、店舗への音響設備などの業務も行なっている。また、自身がギターを担当しているバンドでは福岡を中心に精力的に活動中。<br>上記の経験を活かし音響知識に関する講義を行う。 | | | | |

**授業概要**

①アナログの音響卓の操作。
②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。
③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。

**科目のねらい**

・音響卓（アナログ、デジタル）の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。

・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。

| 授業計画・内容 | |
|---|---|
| 【後期】<br>1～3回目 | 8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。<br>音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。（考え方）<br>PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。 |
| 【後期】<br>4～7回目 | バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー（モニタースピーカー）のチューニング。<br>ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー（モニタースピーカー）の設置及びチューニング。<br>ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。 |
| 【後期】<br>8～10回目 | PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。<br>マルチボックス（16ch,32ch）マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。<br>バンドセットのライブ実習での実務経験。 |
| 【後期】<br>11～13回目 | バンドセットのライブ実習での実務経験。<br>イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。<br>様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。 |
| 【後期】<br>14～17回目 | 後期試験準備。<br>■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。 |
| 評価方法 | S（90点以上）/A（80点以上）/B（70点以上）/C（60点以上）/D（60点未満）/E（未受講）の6段階評価。<br>学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。 |
| 学生へのメッセージ | アナログの音響卓でPAの基礎をしっかり学習していただきます。 |
| 備考 | 適時プリント資料配布 |